

こだわりの研究所を大解剖



サイラ
京都大学総合博物館2020年度特別展 | 京都大学iPS細胞研究所 (CiRA) 設立10周年記念展示

キセキ ミライ

iPS細胞、軌跡と未来

2020年⁹4月⁵8日(水) ^土 ~ ¹¹6月⁸14日(日)

京都大学総合博物館

開館時間：9:30~16:30(入館は16:00まで)

休館日：月曜日、火曜日(平日・祝日にかかわらず)

入館料：一般400円 | 高校・大学生300円 | 小・中学生200

* 20名以上の場合は団体観覧料を適用

* 障害者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名、70歳以上の方、京都大学学生・教職員、京都府下の大学在籍の学生は無料(要証明証)

主催：京都大学iPS細胞研究所、京都大学総合博物館

10th
Thank You

MUSEUM
THE KYOTO UNIVERSITY MUSEUM

キセキ ミライ iPS細胞、軌跡と未来 こだわりの研究所を大解剖

山中伸弥教授のグループが2006年に開発したiPS細胞は、世界に驚きを持って迎えられました。この細胞を使って、世に新たな治療法を送り出すため、また、まだ見ぬ生命の謎を解き明かすため、2010年、京都大学は「iPS細胞研究所(CiRA=サイラ)」を設立しました。

CiRAは、山中所長が空間・組織などの設計に細部までこだわった機関で、新たな研究所のモデルとなることを目指しています。設立からの10年間で、当初の150名から現在の600名規模へと成長し、iPS細胞の医療応用も近づきつつあります。この歩みは、患者さん、政府、企業、市民の理解と支援によって、はじめて実現できたことです。

本展示では、CiRAで働かさざまな専門家とCiRAに関わる人たちにスポットライトを当てながら、CiRAの10年の軌跡、そして未来への挑戦を紹介します。



山中伸弥所長

CiRAが歩んだ歴史

「iPS細胞を医療に」という目標に掲げて歩みだしたCiRA。10年間の地道な研究によって、現在、治療法開発への糸口を見だしつつあります。医療応用への課題を克服し、新たな発見を積み重ねてきた歴史をひもときます。

人とデータで見るCiRA

普段は知る機会のないCiRAの職員たちの素顔。仕事の内容ややりがい、趣味などから、多面的にその姿を描き出します。また、CiRAから発表された論文の数など、この10年間でCiRAの成長を示すデータをご覧ください。

CiRAの仕事

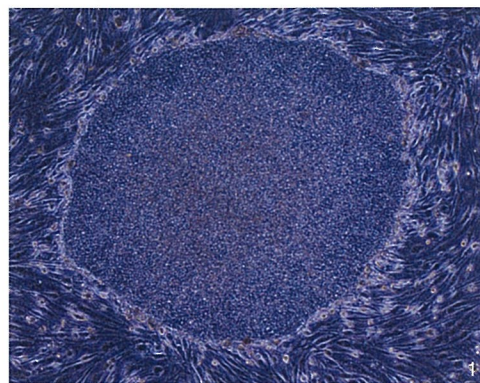
CiRAで行われている研究は、生命現象のしくみを解き明かす基礎的なものから、臨床応用を見据えたものまで多岐にわたります。また、研究者が力を発揮できる環境を整えるために、実験機器の管理、特許、寄付募集の専門家が脇を固めています。それぞれの専門家の仕事とチームワークを描き出します。

CiRAが目指す未来

研究が着実に進展してきた一方で、iPS細胞の医療応用にあたり、未解決の課題も数多く残されています。これらの課題を克服するためのCiRAの挑戦と、CiRAが目指す未来をお伝えします。

CiRAの研究者になろう

CiRAで使われている実験用具やオリジナル白衣のほか、CiRAで開発された教材などを体験いただけます。また、来場者の皆さんがコメントを書き込むことで作品を作り上げていく参加型の企画も行います。



1. ヒトの皮膚の細胞から作られたiPS細胞
2. CiRA竣工式の様子
3. オープンラボでの実験風景

関連イベント

研究者対象シンポジウム

2020年5月21日(木) 10:00~17:00
会場: 京都大学医学部創立百周年記念施設 芝蘭会館

一般の方対象シンポジウム

2020年5月22日(金) 13:30~15:25
会場: 京都大学百周年時計台記念館大ホール

シンポジウムへのお問い合わせ

京都大学iPS細胞研究所 国際広報室
ips-contact@cira.kyoto-u.ac.jp
<https://www.cira.kyoto-u.ac.jp/>



京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL: 075-753-3272
info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp
www.museum.kyoto-u.ac.jp



アクセス 市バス停留所「百万遍」より徒歩約2分
京阪電車「出町柳駅」より徒歩約15分
*駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。